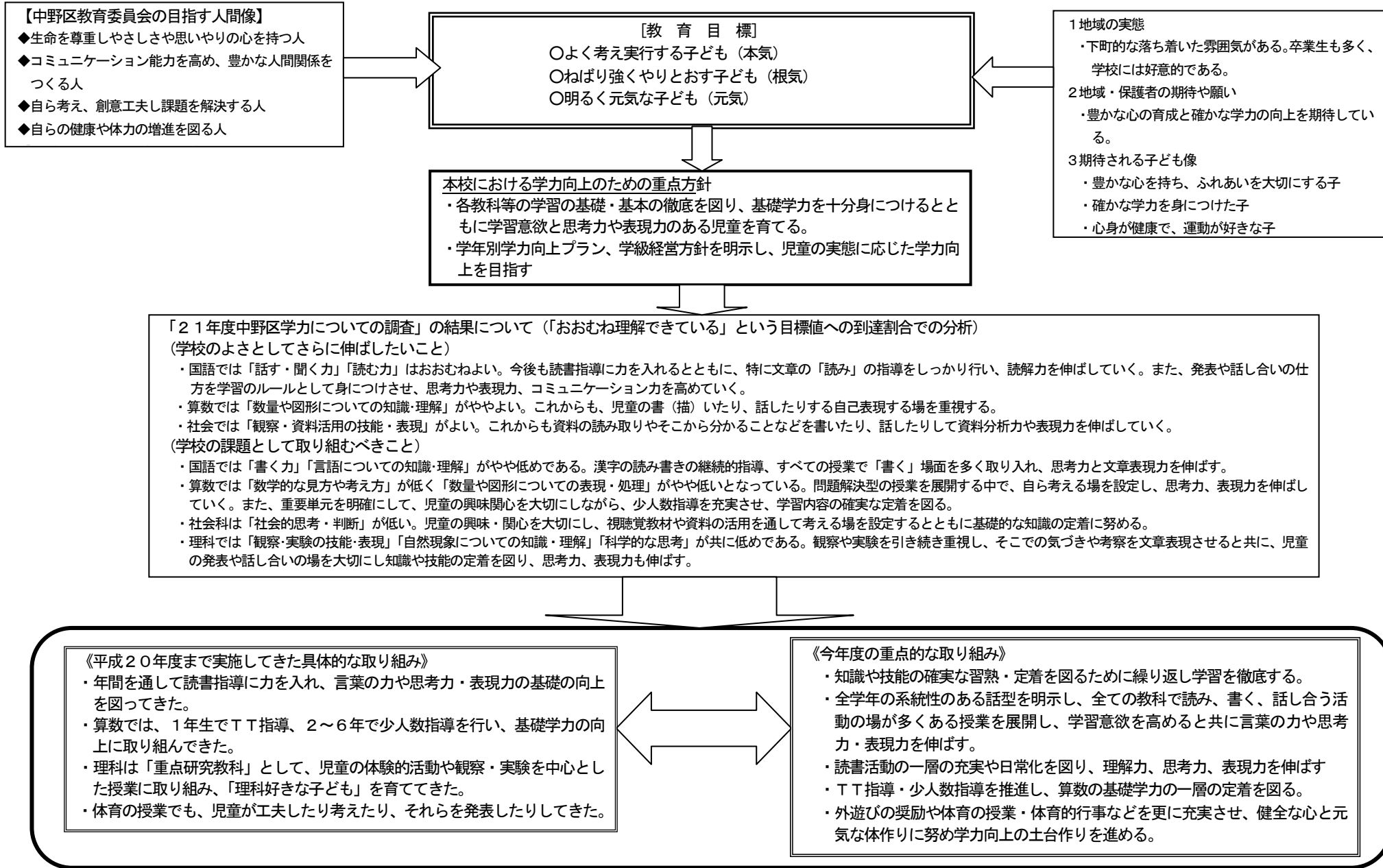


中野区立中野神明小学校「平成21年度・学力向上（授業充実改善）プラン」 10月改訂版



【中野区教育委員会の目指す人間像】

- ◆生命を尊重しやさしさや思いやりの心を持つ人
- ◆コミュニケーション能力を高め、豊かな人間関係をつくる人
- ◆自ら考え、創意工夫し課題を解決する人
- ◆自らの健康や体力の増進を図る人

〔教育目標〕

- よく考え実行する子ども（本気）
- ねばり強くやりとおす子ども（根気）
- 明るく元気な子ども（元気）

1 地域の実態

- ・下町的な落ち着いた雰囲気がある。卒業生も多く、学校には好意的である。

2 地域・保護者の期待や願い

- ・豊かな心の育成と確かな学力の向上を期待している。

3 期待される子ども像

- ・豊かな心を持ち、ふれあいを大切にする子
- ・確かな学力を身につけた子
- ・心身が健康で、運動が好きな子

本校における学力向上のための重点方針

- ・各教科等の学習の基礎・基本の徹底を図り、基礎学力を十分身につけるとともに学習意欲と思考力や表現力のある児童を育てる。
- ・学年別学力向上プラン、学級経営方針を明示し、児童の実態に応じた学力向上を目指す

「21年度中野区学力についての調査」の結果について（「おおむね理解できている」という目標値への到達割合での分析）

（学校のよさとしてさらに伸ばしたいこと）

- ・国語では「話す・聞く力」「読む力」はおおむねよい。今後も読書指導に力を入れるとともに、特に文章の「読み」の指導をしっかりと行い、読解力を伸ばしていく。また、発表や話し合いの仕方を学習のルールとして身につけさせ、思考力や表現力、コミュニケーション力を高めていく。
- ・算数では「数量や図形についての知識・理解」がややよい。これからも、児童の書（描）いたり、話したりする自己表現する場を重視する。
- ・社会では「観察・資料活用の技能・表現」がよい。これからも資料の読み取りやそこから分かることなどを書いたり、話したりして資料分析力や表現力を伸ばしていく。

（学校の課題として取り組むべきこと）

- ・国語では「書く力」「言語についての知識・理解」がやや低めである。漢字の読み書きの継続的指導、すべての授業で「書く」場面を多く取り入れ、思考力と文章表現力を伸ばす。
- ・算数では「数学的な見方や考え方」が低く「数量や図形についての表現・処理」がやや低いとなっている。問題解決型の授業を展開する中で、自ら考える場を設定し、思考力、表現力を伸ばしていく。また、重要単元を明確にして、児童の興味関心を大切にしながら、少人数指導を充実させ、学習内容の確実な定着を図る。
- ・社会科は「社会的思考・判断」が低い。児童の興味・関心を大切に、視聴覚教材や資料の活用を通して考える場を設定するとともに基礎的な知識の定着に努める。
- ・理科では「観察・実験の技能・表現」「自然現象についての知識・理解」「科学的な思考」が共に低めである。観察や実験を引き続き重視し、そこでの気づきや考察を文章表現させると共に、児童の発表や話し合いの場を大切に知識や技能の定着を図り、思考力、表現力も伸ばす。

《平成20年度まで実施してきた具体的な取り組み》

- ・年間を通して読書指導に力を入れ、言葉の力や思考力・表現力の基礎の向上を図ってきた。
- ・算数では、1年生でTT指導、2～6年で少人数指導を行い、基礎学力の向上に取り組んできた。
- ・理科は「重点研究教科」として、児童の体験的活動や観察・実験を中心とした授業に取り組み、「理科好きな子ども」を育ててきた。
- ・体育の授業でも、児童が工夫したり考えたり、それらを発表したりしてきた。

《今年度の重点的な取り組み》

- ・知識や技能の確実な習熟・定着を図るために繰り返し学習を徹底する。
- ・全学年の系統性のある話型を明示し、全ての教科で読み、書く、話し合う活動の場が多くある授業を展開し、学習意欲を高めると共に言葉の力や思考力・表現力を伸ばす。
- ・読書活動の一層の充実や日常化を図り、理解力、思考力、表現力を伸ばす
- ・TT指導・少人数指導を推進し、算数の基礎学力の一層の定着を図る。
- ・外遊びの奨励や体育の授業・体育的行事などを更に充実させ、健全な心と元気な体作りに努め学力向上の土台作りを進める。

《教科等の授業充実・改善の重点》

教科等	充実・改善点	教科等	充実・改善点
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の導入、展開を工夫し、児童の学習への関心・意欲を高める。 ・音読・朗読を大切にすると共に、子ども同士で話し合いながら学習を深めていく活動の場を多くする。また、文章表現の機会を増やす。 	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を生涯学習の一つとして、取り組めるように、基礎基本を大切にした授業を行う。また、児童が互いに認め合い、高め合っていけるよう小アンサンブルや合奏の授業を大切にしていく。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・調査したり、地図や図表などの資料を分析したり効果的に活用したりする力を育てる。 ・調べたことを表現方法を工夫しながらまとめ、発表する力を育てる。 	図工	<ul style="list-style-type: none"> ・表現及び鑑賞の活動の充実を通して、コミュニケーション力—情報の授受と発信—の基礎となる感性を養う。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的な考え方を伸ばすため、自分の考えを図や言葉で表現し、話し合う場を増やす。 ・各学年のつながりを見通した指導を行い、基礎的な知識や技能の習熟に努める 	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・衣食住での自立を目指し、体験的な学習を通して基礎的な生活技能が身に付くような指導計画を立て、実践する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・事象提示の工夫などをして、見方や考え方を深め合う学習過程にする。 ・観察や実験の記録やまとめ方など児童の見方考え方を引き出し、効果的に表現する力を伸ばす授業を展開する。 	体育	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画を元に十分な運動量を確保する授業を行う。 ・体を動かす心地よさを感じたり、友達との関わりの中で楽しんだりしながら運動に取り組めるようにする。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・飼育、栽培、製作、遊び、表現など様々な体験的活動や人、自然、社会と直接ふれあう学習活動を展開する。 	総合	<ul style="list-style-type: none"> ・人、地域、社会との関わりを重視した授業を展開していく。 ・自ら課題を見つけ進んで解決していく力や態度を育てる。 ・コミュニケーション力を育てるため、英語活動を継続的に行う
その他（道徳・特別活動等）	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳では体験的活動など指導法を工夫し、道徳的判断力や実践力を育てる。 ・特別活動では、縦割り班活動などを通して、自主的な行動力や協調性、連帯感を育てる。 	家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の確立（特に早起き・朝食、朝運動）、家庭学習・家庭読書の習慣化、外遊びや運動の奨励など、家庭での取り組みの啓発や家庭との連携を継続的に行う

